

**プロジェクト会議④**  
**2014/10/24 全体意見交換 メモ**

■計画の素案について全体で意見交換を行いました。

- 本計画は 10 年後に 5 章の体制になっている、というイメージ。
- 進捗管理(市民満足度アンケートなど。環境基本計画の指数等も参考に。数値目標は記載するのか?)・・・数値目標は可能な限り記載。進捗管理はしあわせづくり委員会で「地域福祉計画」も「活動計画」も行う予定。
- 最終的には地域版地域福祉計画を策定した上で、各地域で進捗管理できると良い。
- 高齢者福祉分野においても、委員会等が多い。できればコンパクトに整理できれば良い。
- 市民主体の部分の進捗管理が課題(会議、検討の仕方がポイント)。
- 「市民(自治基本条例の定義)」「住民」「連携(わかりやすく)」「相談体制イメージ(わかりやすく)」等、用語やイメージ図の精査が必要。
- 南ヶ丘など「まちづくり協議会」と「サポーター会議」をわかりやすく。
- 国・県の状況や動向の記載があった方が良い。
- 地域支援ファンドはできるのか?←資金の考え方や助成の情報提供も含めて要検討。
- 財政・予算の課題も記載した方が良い(予算の制約あり)。
- グラフについて 3 ヶ年のデータで良いか?前計画(10 年前)からの変化がわかる方が良い。
- 表現について、体言止め等、統一する。
- 第 1 次からの新規・継続性の確認はできている?
- 行政内で「誰(どこの課・係)」がするのか整理できている?
- 行政の進捗管理⇔市民・事業者の進捗管理。しあわせづくり委員会でどこまで評価するのか。
- 優先順位・時系列。10 年のうち、いつまでにやる?
- P28。「福祉サービス」を拡充しよう。「サービス」という語にギャップがある。なんでもかんでも行政がする時代ではない。活動の輪を拡充?
- 目次・タイトルに「第 4 次活動計画」を追加か、「〇〇〇プラン」に。
- P3。「社協が…中心的な役割」。←サポーター委員のコンセンサスが取れていないのでは?
- P4。補完性の原理?社協や、事業者、市民の計画でもある。
- 用語の統一。
- 欠席したメンバーの所管課関係は各課照会やヒアリング等で対応する。
- 施策と重点課題…1 対 1 の対応にはなっていない。つながりがわかる工夫が必要。